

臼 中 だ よ り

<https://usuchu.city-niigata.ed.jp/>

ブログ更新しています

新潟市立臼井中学校

電話 025(373)5402

FAX 025(373)5469

E-mail j603usuchu@city-niigata.ed.jp

全国学力・学習状況調査の結果について

3 年生を対象に実施した令和 7 年度「全国学力・学習状況調査（文部科学省）」及び 1・2・3 年生を対象にした学力診断テスト（NRT）の結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

なお、全国学力テストは、生徒の学力全般を示すものではなく、一部分を示すものです。今回の結果を分析し、各教科で実態や課題を確認し、日々の授業改善並びに指導の充実に努めてまいります。

1 〔3 年生対象〕全国学力・学習状況調査（平均正答率（％））

<国 語>

分 類	区 分	臼井中学校	全国比
全 体		4 5	－ 9. 4 3
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	3 7. 5
		(2) 情報の扱い方に関する事項	－ 1 0. 6
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	－ 1 0. 6
	思考力・判断力・表現力等	A 話すこと・聞くこと	4 2. 2
		B 書くこと	－ 1 0. 0
		C 読むこと	4 0. 0
評価の観点	知識・技能	6 2. 5	＋ 0. 2
	思考・判断・表現	3 7. 5	－ 1 0. 6
	主体的に学習に取り組む態度	4 6. 4	－ 8. 9
問題形式	選択式	5 3. 9	－ 1 0. 0
	短答式	6 2. 5	－ 1 1. 1
	記述式	1 8. 8	－ 1 2. 8

国語では、達成度の課題領域（書くこと）について、今後の授業で引き続き、「音読と要約」で読解力や表現力の土台作り、「語彙力を増やすこと」で使える知識・技能の向上を図り、「多様な文章に触れること」で語彙や表現力を高めていきます。

<数 学>

分 類	区 分	臼井中学校	全国比
全 体		3 6. 0	－ 1 2. 3
学習指導要領の領域	A 数と式	2 5. 0	－ 1 8. 5
	B 図形	3 7. 5	－ 9. 0
	C 関数	3 9. 6	－ 8. 6
	D データの活用	4 7. 9	－ 1 0. 7
評価の観点	知識・技能	4 4. 4	－ 1 0. 0
	思考・判断・表現	2 2. 9	－ 1 6. 2
	主体的に学習に取り組む態度	－	－
問題形式	選択式	5 2. 1	－ 1. 9
	短答式	3 7. 5	－ 1 4. 5
	記述式	2 3. 8	－ 1 5. 8

数学では、4 領域で達成度が一番低かった「図形」の内容について、図形を描く・図形の性質を理解する・合同や相似を見つける・様々な角度から図形を見る・補助線を引くという基本操作を再確認させ、補充プリントも活用しながら定着を目指します。

<理 科>

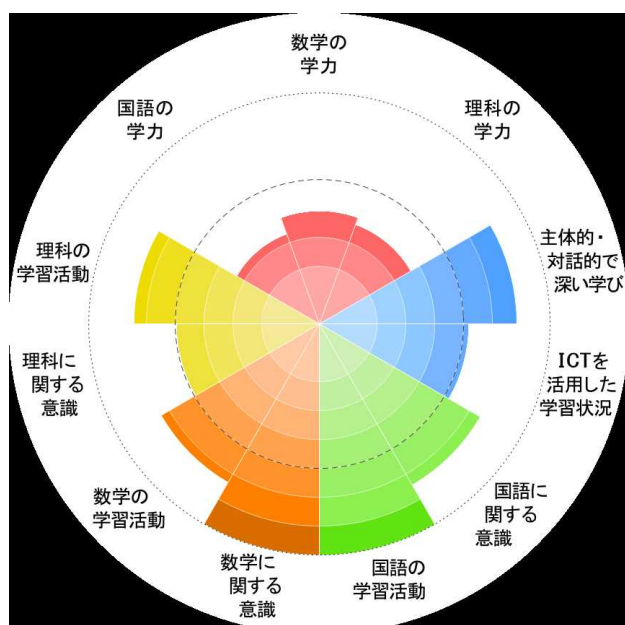
	理 科
臼井中学校 (平均IRTスコア)	4 5 0
新潟県 (平均IRTスコア)	4 9 8
全国 (平均IRTスコア)	5 0 3

← IRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、スコアにしたものです。500を基準にした得点で表しています。

※IRTは、従来のテストのように正答数や正答率といった素点（合計点）のみで評価するのではなく、問題ごとの難易度や識別力（問題が受験者の能力差をどれだけ正確に識別できるか）といった特性を考慮して、受験者の能力を「絶対尺度」で評価する統計理論です。

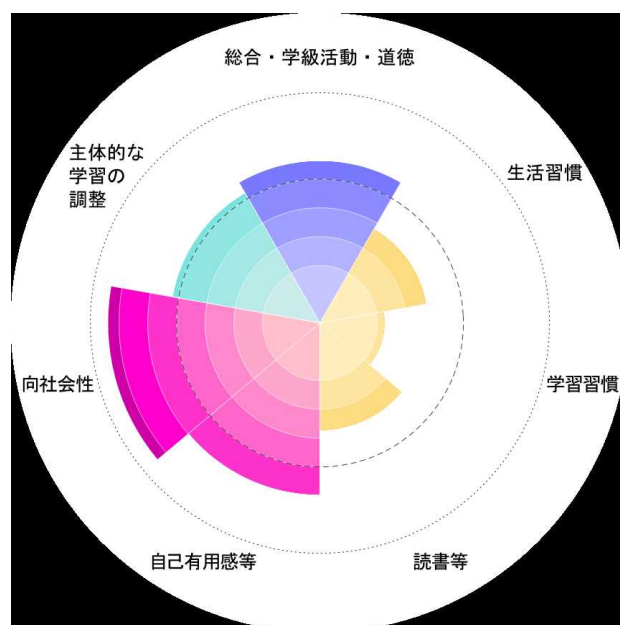
理科では、達成度が低かった「地球」と「生命」の内容について、地球の動き（自転と公転、太陽の日周運動、星の年周運動地軸の傾き等）と生命と地球の移り変わりが、私たちの住む地球や生命の成り立ちを理解する上で重要であることを踏まえさせ、まずは知識・技能の定着を図ってまいります。

<新潟県基準>



- ▼学力は課題。
- ◎学習活動、意識が高い。
- ◎主体的・対話的で深い学びが高い。

<新潟県基準>



- ▼学習習慣、生活習慣、読書名痔の改善の余地がある。
- ◎向社会性は高い。

次に学習状況調査について、本校の特徴をまとめてみました。

	肯定的評価		
	臼井中	新潟県	全国
✿人が困っているときは、進んで助けていますか	100.0%	91.7%	90.9%
✿学校に行くのは楽しいと思いますか	93.8%	87.1%	86.1%
✿自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	75.1%	81.1%	79.2%
✿地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	93.8%	77.3%	75.3%
✿どれくらいの時間、勉強をしますか	6.3%	10.8%	13.8%
(学習塾、家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)			

3年生を対象とした生徒質問用紙の回答結果です。3年生は最高学年としての自覚をもち、1・2年生の模範となり、日々の教育活動をリードしています。生徒会活動（委員会活動を含む）や学校・生徒会行事においては、一人一人が自ら考え行動し、共感・承認・寄り添いのスタンスで学校全体を豊かになるよう取り組んでいます。

「どれくらいの時間、勉強をしますか」という問いに対し、肯定的な評価割合は6.3%で、県や全国と比較すると低い数値でした。新潟市は3年生に期待する家庭学習時間として120分を設定しています。進路実現に向けた歩みや将来への視野を広げる視点からもアプローチし、家庭学習の効果について触れていきます。

2 学力診断テスト(NRT)の結果から

平均偏差値（全国平均を50.0で換算しています）

	国 語	社 会	数 学	理 科	英 語
1 年	53.9	53.3	51.6	55.0	49.3
2 年	49.8	49.2	49.5	44.9	44.7
3 年	45.1	47.3	45.8	43.1	44.9

～分析結果を踏まえた教科部としての改善策や今後の取組～

国 語	授業開始10分は言語事項の指導を行っていることから、学力偏差値は1年次から2年次にかけて向上する。2年次から3年次にかけては、語彙力の不足、初読の文章が提示されることに加え、NRTが定期テストとは異なる形式の問題や出題順序が多い。短時間で多様な問題の趣旨を読み取り、正確に解けない。授業において、初読の問題を解くトレーニングが必要で、指導教材の精選を行っていく。
社 会	○基礎的・基本的な学習内容の定着を図るために、授業で学んだ内容を家庭学習やICTを活用した復習を促す。 ○グラフ等の資料から読み取る問題への理解を図るために、授業で類似問題を多く取り入れ、協働的な学びと個別最適な学びによって学習内容の定着を目指す。
数 学	○授業の始めの5分間、計算や図形、関数の基本的ミニプリントのドリル学習を行う。わからない問題等は周りの人と意見交換し、「目指せ、全員満点！」を目標に取り組む。 ○授業では、基本項目を中心に、スモールステップで丁寧に進める。また、机間指導を充実させ、生徒個々への働きかけに努める。
理 科	○既習事項の確認や学習内容に関する問題を解く機会を設定し、基礎・基本の定着を図る。 ○計算を伴う学習内容では、教え合い活動を組み入れ、技能の習得を図る。 ○実態物を見ることができない内容では、ICTを活用し、理解につなげる。
英 語	○日々の授業の中に、4技能をバランス良く組み入れたり、ALTとの連携を強化し、オーラルコミュニケーションとライティングスキルに重点を置いたTTを展開する。 ○少人数指導体制のメリットを活かし、反復練習、ドリル演習、復習体制をさらに整え、一人一人に正確なアプローチを図る。

3 学力向上に向けた取組

- (1)「学習課題」「まとめ」「振り返り」を重視した授業を展開します。
- (2)「タイムマネジメント」を意識させ、目標に沿った計画的な学習につなげます。
- (3)定期テスト前の質問教室はもとより、普段の授業の中でも質問の吸い上げに努めます。
- (4)アフタースクール事業を活用し、基礎学力の定着を図ります。